

例大祭

紫陽花乃聲

西野神社社報
第3号

令和7年10月1日発行



西野神社

10・11・12月の予定

11月23日 新嘗祭

12月31日 除夜祭・師走大祓

子宝 子の日

10月10日、22日
11月3日、15日、27日
12月9日、21日

安産 戌の日

10月8日、20日
11月1日、13日、25日
12月7日、19日、31日

病氣平癒 申の日

10月6日、18日、30日
11月11日、23日
12月5日、17日、29日

天赦日 大吉日

10月6日
12月21日

開運 一粒万倍日

10月1日、6日、
16日、19日、31日
11月12日、13日、
24日、25日
12月6日、8日、
9日、20日、21日

神主の独り言

節分と言えば「鬼は外、福は内」と鬼に豆を投げる習慣がありますが何故豆なのかお解りでしょうか？それは鬼は元来「眼力」が強いと言われていたからです。力の源と言われている眼力を潰す（目潰しの）ために小さい豆を投げつけていたと言われております。筋骨隆々な鬼も眼力を潰されては力も出せなかったのかもしれないですね。

今回は「厄除け」の意味についてお話したいと思います。

神社のあれって何？

玉串



玉串「たまぐし」とは神に紙垂（しで）という紙や麻を結んだもので、儀式中に拝礼で使用します。一般的に願いを込めるもの（願いを乗せるお皿）と言われており、祈念し神前にお供えします。また北海道では地域上、神の代わりにはイチイまたの名をオコンコ（右写真参照）を代用している場合があります。

今回は手水舎についてお話したいと思います。

今季の御朱印



秋＝紅葉をあしらった御朱印

初穂料 300円

他、切り絵や巳年限定の御朱印等も頒布しております。

御守り紹介



病除け「癌」

初穂料六〇〇円

「病除け」の「癌」に特化した御守りです。「病除け」は病を除ける無病息災と、病を無くす病気平癒の意味をもつ御守りです。

その他「内臓」や「糖尿病」など八種類の御守りがあります。

編集後記



紅葉が恋しくなる今日この頃、紫陽花の聲、今年最後となる第三号を発行致しました。

九月十三、十四日と齋行された例大祭は、皆様のご協力の下盛大に齋行され無事開催出来ましたこと改めて感謝申し上げます。

いよいよ今年も年末に近づき、慌ただしくなる頃ですが、皆様におかれましては新年を輝かしく迎えられますよう御祈念申し上げます。

次の発行は一月発行です。